

# 大豆情報

(第4号)

令和5年7月18日  
あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会

「排水対策の徹底」、「適期に確実な防除」、「適切な畦間かん水」で  
収量・品質を高めましょう！

## 1. 2回培土と排水対策の徹底 ～生育量確保のため、培土は確実にいきましょう！～

降雨の影響により播種時期が遅れ、培土作業も遅れています。

品質・収量の確保とあわせて、雑草の発生を抑制するため、排水溝を点検・補修し、ほ場の停滞水の排水に努めるとともに、**2回培土未実施の場合は、晴れ間をみて速やかに培土を実施**しましょう。

## 2. 病害虫防除 ～適期の病害虫防除により、高品質な大豆に仕上げましょう！～

○紫斑病や害虫防除のため、**2回の基本防除は適期に確実に**行うとともに、カメムシ類、チョウ目幼虫等は発生状況に応じて適期に防除しましょう。

防除体系	防除時期の目安	対象病害虫	薬剤名 【液剤体系】	10a 当たり 散布量	薬剤名 【粉剤体系】	10a 当たり 散布量
基本 (1回目)	8月上中旬 (開花期～若莢期)	紫斑病 カメムシ類 マメシクイガ	プランダム乳剤25(4,000倍) (開花期～収穫7日前まで)	150ℓ	トライトレボン粉剤DL (収穫14日前まで)	4kg
			カスケード乳剤(4,000倍) (収穫7日前まで)			
基本 (2回目)	8月中下旬 (1回目の10～14日後)	紫斑病	アミスタートレボン SE (1,000倍) (収穫14日前まで)	150ℓ	Zポルドー粉剤DL	3kg
		カメムシ類 マメシクイガ			ダントツH粉剤DL (収穫7日前まで)	4kg
随時	7月下旬～8月上旬	ウコンノメイガ (ハマキムシ)	プレバソフフロアブル5 (4,000倍) (収穫7日前まで)	150ℓ	—	
	8月下旬～9月上旬	マメシクイガ				
随時	8月下旬～9月上旬	フタスジヒメハムシ カメムシ類	カスケード乳剤(4,000倍) (収穫7日前まで)	150ℓ	スタークル粉剤DL (収穫7日前まで)	3kg
随時	8月下旬～9月中旬	ハスモンヨトウ カメムシ類 マメシクイガ	トレボン乳剤(1,000倍) (収穫14日前まで)	150ℓ	—	

## 3. 畦間かん水 ～開花期から9月上旬までの畦間かん水により干ばつ回避～

○開花始め(7月下旬)から9月上旬までの40日間は、**大豆が最も水を必要とする時期**です。

○水不足は莢数や収量の減少を招き、莢先熟(青立ち)やしわ粒の発生を助長することから、**3日以上晴天日が続く場合は、土壌の乾きに応じて短時間で畦間かん水**を行きましょう。

○かん水は、**ほ場全体に水が行き渡ったら水口をしっかりと止め、速やかに排水**してください。

### 【畦間かん水の効果】

- ・根粒の活性を維持
- ・稔実莢数、百粒重の確保
- ・莢先熟(青立ち)の発生防止
- ・しわ粒の発生軽減

梅雨明け後、暑い日が続いたら、積極的に畦間かん水を行きましょう！



うら面に続く

## 4. 雑草防除

### 【難防除雑草の発生に注意】

大豆ほ場への侵入・まん延を防ぐため、こまめに見回り、種子ができる前に除草しましょう。  
(※抜き取った場合はそのまま放置せず、ほ場外で適切に処理しましょう。)

除草方法は各営農経済センターにご相談ください。



マルバルコウ



イヌホオズキ



アメリカアサガオ



マメアサガオ

- 除草剤を使用する場合は、雑草の種類及び生育状況、大豆の生育状況から判断し、適期を逃さずに散布しましょう。
- 畦間・株間処理は、吊り下げノズルが必要です。薬剤が大豆に付着すると葉が黄化する等の薬害が発生するため、大豆に直接かからないよう注意して散布してください。

薬剤名	対象雑草	10a 当たり散布量	使用方法	使用時期	使用回数
ポルトフロアブル	1年生イネ科雑草 (スズメカビラを除く)	薬量 200~300mℓ (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 または全面散布	イネ科雑草 3~10 葉期 ただし、収穫 30 日前まで	1回
大豆バサグラン 液剤	1年生雑草 (イネ科雑草を除く)	薬量 300~500mℓ (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 ( <u>畦間処理</u> )	雑草生育初期~6 葉期まで ただし収穫 45 日前まで	1回
ロロックス (水和剤)	1年生雑草	薬量 100~200g (水 70~150ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 ( <u>畦間・株間処理</u> )	本葉 3 葉期以降(雑草生育期) (雑草草丈 15cm 以下) ただし、収穫 30 日前まで	1回
ザクサ液剤	1年生雑草	薬量 300~500mℓ (水 100~150ℓ で希釈)	雑草茎葉散布 ( <u>畦間処理</u> )	本葉 5 葉期以降 雑草生育期 ただし、収穫 28 日前まで	3回

### 【難防除雑草（帰化雑草等）のほ場へのまん延防止対策】

難防除雑草が発生しているほ場は、結実前に抜き取り、または有効な除草剤を使用して対処するとともに、これ以上雑草がまん延しないよう、以下の点に留意して作業を行いましょ。

- ① 刈り払う場合は再生防止のために地際から行う。(雑草は、ほ場外で処分する)
- ② 種子が結実してしまった場合、収穫後のすき込みは実施しない。(地表面に落下した種子をそのまま放置し、発芽能力を低下させる)
- ③ 難防除雑草が発生しているほ場の作業は、可能な限り最後に行う。(トラクター、コンバイン等で種子を移動させないため)
- ④ 機械の清掃を徹底する。
- ⑤ 粗選別時のゴミは、ほ場外で適切に処分する。

☆とやま GAP (富山県適正農業規範) に基づき、安全に作業しましょう。

☆「守ろう 農薬ラベル 確かめよう 周囲の状況」富山県農薬危害防止運動実施中(4/13~9/14)

☆熱中症対策をしっかりと行いましょう。